



海のクリーンアップ作戦

受け継ごう
きれいで豊かな瀬戸の海

6月29日、地御前海岸と阿品海岸で、清掃活動が行われました。

この清掃は、大阪府から大分県までの瀬戸内海沿岸で取り組んでいる「リフレッシュ瀬戸内」活動の一環で、美しい瀬戸内を守るため、平成5年から行われています。

子どもから年配の方までの約400人が参加し、漂流したペットボトルや空き缶、木くずなどの漂着ごみを約30分かけて拾い集めました。



初めてこの清掃に参加した柴田将さん（22歳）は、「海岸がきれいになると、気分もすがすがしくなります」と話してくれました。

J Tサンダーズ熱血指導

市内の児童・生徒に、
バレーボールのアドバイス

廿日市市制施行25周年を記念し、Vリーグで活躍するJ Tサンダーズを招いてのバレーボール教室が、6月23日、サンチェリーで行われました。

同チームの選手やコーチ18人から指導を受けたのは、市内小中学校でバレーボールをしている約100人の児童・生徒たち。トップリーグで活躍する選手からの的確な指導に、真剣に耳を傾けていました。



選手を交えて行われた試合形式の練習や、選手のサイン会もあり、トップリーグで活躍する選手を身近に感じることができた一日でした。

みやじマリンに新しいアイドル誕生

スナメリのニコの赤ちゃん
すくすく育っています

宮島水族館で5月15日夜、スナメリのニコ（推定13歳）の赤ちゃんが生まれました。生まれたときの体長は約75cm、体重約7kgで、性別はまだ分かっていません。

父親は、鳥羽水族館から共同繁殖を目的に来館しているゴウ（推定13歳）。出産にかかった時間は約5分だったそうです。

館長の塚本博一さんは、「無事に一般公開できるよう、成長を見守っていききたい」と話してくれました。



赤ちゃんは母乳で育ち、餌を食べ始めるのは、生後100日前後とのこと。母親のニコのそばを離れないよう一生懸命泳いでいます。

人はみんな 生きるための道を 歩いている

第37回廿日市市人権作品入選作品より

人が「命」という平等なものを受け取り、「生きるための道」を歩いていくために、人権は大切に守られていかなければなりません。互いに相手を思いやり、自分の人権も相手の人権も大切に守りながら、ともに幸せに暮らせる社会を築いていきましょう。

市と、市人権啓発推進協議会連合会では、人権の大切さ、命の大切さについて考えるきっかけとなるよう、さまざまな啓発事業に取り組んでいます。8月から実施するイベントを紹介します。

8月は人権強調月間です 問合せ 人権・男女共同推進課 ☎9136

美しい歌声を聴きながら、人権について考えてみませんか

■人権コンサート
廿日市市制施行25周年記念
渡辺千賀子 おはなしコンサート
出演 渡辺 千賀子さん（ベル・カント ソプラノ歌手）

とき 8月3日(土)
ところ（終了時間は予定）
大野福祉保健センター14時～15時30分
さくらびあ小ホール 18時～19時30分
※入場無料。申込み不要。手話通訳有り

啓発品は市内障がい者施設のハンドメイドです

■人権強調月間啓発キャンペーン
人権を意識するきっかけとして啓発品（せっけん、クリップ、ポケットティッシュなど）を配布します。

とき・ところ
●廿日市地域 8月9日(金)17時～
ザ・ビッグ宮内店、ティナコート、フジグランナタリー
●吉和地域 8月15日(木)17時30分～

吉和夏まつり会場（吉和グラウンド）
●大野地域 8月20日(火)10時～
ビューアークク青葉台店
●宮島地域 8月2(金)7時10分～
宮島栈橋前広場
※なくなり次第終了

あなたの思いを表現してみませんか

■人権作品募集
人権の尊さ、差別を許さない考えや行動の輪を広めるため、人権作品を募集します。

テーマ 日常生活の中で人権の尊さについて感じたことなど

募集作品

①標語（1人1点まで）
②作文（エッセイなども含む。400字詰め原稿用紙5枚以内）
③詩（400字詰め原稿用紙3枚以内）
④ポスター（四つ切り画用紙）
⑤写真（人物が写っている作品。四つ切りサイズ・25cm×30cm程度）
※写っている人の承諾を受けた作品で、いずれも未発表のものに限る
応募資格 市内に在住、在学または

在勤の人
応募方法 作品に①住所、②名前、③電話番号、学生は④学校名、⑤学年を記入して次へ提出
〒738-8501
廿日市市下平良一丁目11番1号
廿日市市役所人権・男女共同推進課
応募締切 9月19日(木)

※入選作品は、12月7日(土)に開催する人権フェスタで表彰します。また、標語、ポスター、写真などを市民ホールなどで展示します

誰かがあなたを必要としています

■企業・事業所部会人権講演会
ゲートキーパー養成講座
テーマ 地域で、職場で、家庭で「あなたが大切な人にできる5つのこと」
講師 澤登和夫さん（うつ専門カウンセラー）

とき 9月4日(木)14時～15時30分
ところ さくらびあ小ホール
※入場無料。申込み不要。手話通訳・要約筆記有り

市に多額の寄附

おめでとうございます
善行表彰

市の災害対策事業の推進のために、多額の金員を寄附された株式会社山崎本社が、廿日市市表彰条例に基づき、善行表彰を受けられました。（6月24日付）

「町内会などと協力した、災害防止対策事業に役立てて欲しい」と代表取締役である林正史さん。

また、同社では防災グッズの販売も手掛け、地域に何か還元できればとの思いから今回の寄附につながったそうです。



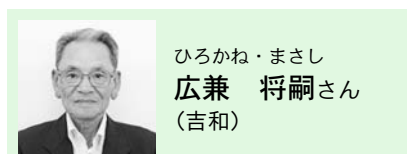
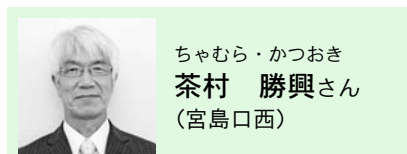
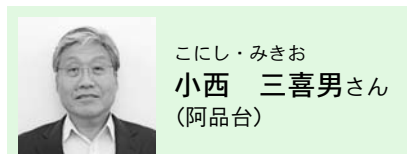
写真は表彰を受ける林さん。寄附していただいた金員は、災害に強いまちづくりに役立てていきます。

行政相談委員に感謝状

おめでとうございます
総務大臣感謝状

行政相談委員として活躍された功績により、次の方々に総務大臣感謝状が贈呈されました。（6月19日付）

行政相談委員は、国の仕事やサービスについて、市民の方からの困りごとや苦情、意見・要望を受けています。



(五十音順)

廿日市市連続公開講座 第2回地域学セミナー

地域資源を生かした
まちづくりのために

7月13日、まちの特性を学び、まちづくり生かすため、地域学セミナーが市民活動センターで開催されました。

広島経済大学の川村健一教授を講師に、「まちづくり・人づくり～豊かさを考える～」と題し、世界のさまざまな国での人と風土の関係について学習。川村さんは、「まちづくりでは、まず、住人が楽しむことが大事。楽しいと人が集まるんです」と話しました。



写真は講師の川村さん。次回は9月21日(土)14時から、さいぎ文化センターで、「活気ある浅原を創る会」会長の酒井豊裕さんを講師に開催されます。